

「神様がお父さんになってほしいという母の願いを聞いてくれました」

清水ナミ動察(東京田端万民教会)

私は東京近郊の埼玉県に住んでいる27才の主婦です。生きておられる神様に会えなかったとすれば、10年間、私を苦しめていた病気が治らないまま、苦しい毎日を送っていたでしょう。でも、今はいやされて、霊の信仰を下さった神様に感謝して、もう一度力づけられています。

◆家庭不和で非行少女だったが 私は問題児でした。両親の離婚と家庭不和などで性格が反抗的になり、中学校の時、悪い友だちとつき合っ、手のほどこしょもないところまでなりました。中学校1年生の時、退学になって学校を移りましたが、そこでも退学になりました。母の清水智恵勲士は私が小学校2年生の時、働くために日本に来ました。思春期の娘が学業を途中でやめたのですから、どれほどよかったですか。ついに1998年10月、母は韓国にいた私を日本に連れて来ました。私は17才で中学校1学年から学びながら、新しい人生に適応し始めました。

23才で短大の秘書学科に入りました。1年生の終わりには大企業のパナソニックで韓国語の通訳と翻訳業務も担当しました。日本で暮らしながらそれほど困ったことがなかったのは、母の祈りのおかげだと思います。私のことがいとも痛々しくて、何でもしてあげようと努めてくれて、私のために神様に祈ることを忘れなかったのです。

「神様！ 娘のナミが主を受け入れられるようにしてください。お父さんなしに育ったかわいそうな子どもです。神様がお父さんになってください。」

◆子宮内膜炎に気胸まで重なりながら、母の愛を悟り

2000年、高校の時から生理痛がひどかったのですが、他の子

たちよりちょっとひどいだけと思って数年を送りました。ところが、3年後の診察の結果、子宮内膜炎とわかりました。左の卵巣が腫れているので、もっと深刻になれば左の卵巣を切除しなければならぬかもしれないところでした。それでもこの時は、生理痛だけ我慢すればいいくらいでした。

2008年12月のことでした。風邪を引いて、咳をすると胸が痛かったのです。診察の結果、気胸(胸腔内で気体が肺

を圧迫し、肺が外気を取り込めなくなった状態。ケガや結核、肺炎などで肺の表面に穴ができることが原因)で、右胸部に穴を開けてチューブを挿入し、空気を抜く手術をしなければならなかった。

後でわかったのですが、この気胸も子宮内膜炎によるものでした。その後、毎月気胸が再発しましたが、お医者さんから、胸を開く大きい手術をするべきだが、そうしても完治は保障できないし、あまりにも大きい傷跡が残るからしない方がよいでしょうと言われました。その他の治療法は生理をなくしてしまうことですが、その時は未婚だったので、もう少し見守ろうと言われました。

それで、生理痛と気胸のため1か月のうち半月は苦しみました。生理が始まる1週間前からからだ

が重くて、骨の節々がうずいて痛

かったのです。何より深刻なのは、食べるのが好きだった私が、妊婦のつわりのように臭いに敏感になって、ご飯も食べられませんでした。その上、お腹があまりにも痛くて、這ってお手洗いにいかなければならなかった。職場にも1か月のうち2日間は出勤できませんでした。お腹の中の胃と腸を誰かがねじりきるような感じ、とても

苦しいものでした。この苦しみの生理が終わって何日かが過ぎれば、気胸が再発しました。5日くらいは右の肺に空気が漏れているのを感じます。そうになると、少しだけ歩いても息が切れて、運動はもちろん、歩くことさえも眠れませんでした。

からだの具合が悪くなると、母のありがたみが分かるようになったのです。ある日、母のことを思い

出すと、深い愛が押し寄せてきました。「これまで誰にも話せないことがどんなにたくさんあったらどうか…。」私は母に申しわけなくて、涙がいきなりあふれました。「お母さん！ ごめんね。私が悪かった。これまでどんなにつらかったでしょう。ありがとう。これからはいい娘になるから、お母さん！」

◆『地獄』を読んで人生が変わると

2004年1月、母は東京田端万民教会に出席し始めました。母の願いは私が教会に行くことでしたが、すぐは気が向きませんでした。母は私のために祈って、数年間、私に教会に行くよう勧め続けました。2009年8月頃、ついに母から堂会長イ・ジェロク牧師先生の『地獄』を渡されて読んだ後、生き方が変えられ始めました。私はこれ以上世に落ちずに、神様を正しく信じるべきだと思いました。

その後、東京田端万民教会に出席しました。実際、教会に行くと心と心があらかでした。ちょうどその時期に堂会長先生が『地獄』の説教をされていたので、メッセージがもっと深く心に届きました。また、堂会長先生を通して現れる聖書の不思議としるし、いやしのみわざを見ながら、まことの信仰を悟り始め、みことばどおり行なう霊の信仰を持つと熱心に

努力しました。メッセージで「しなさい」「してはならない」「守りなさい」「捨てなさい」と言われる神様のみことばに聞き従うと、自分の心が変えられるのが感じられました。からだも少しずつ良くなっていきました。

◆暖かい家庭を作って、すべての病気がいやされて

2009年4月、私は韓国人の集いで主人に会って結婚し、暖かい家庭を作りました。その年の10月、チョン・ギョンテ牧師先生が導くハンカチ集会の時でした。「信仰が強くなればからでも健康になる」という聖霊の声が聞こえました。私は「信仰と聖潔を与えてください」という願いを抱いて祈りを受けました。その後、席に戻って祈ると、これまで犯した罪と過ちが走馬灯のようにかすめながら、魂を砕いて罪を告白しました。その後、あんなにつらかった生理痛と気胸が現れなくなりました。

「あれ？ 何ともない！ ご飯が食べれる、ご飯が！」

食欲が出て、痛みがなくなっただけです。私は母とチョン・ギョンテ牧師先生にも話しました。聖徒の方々と一緒にどんなに喜んでくださったでしょうか。

今は神様に礼拝をささげて、聖徒の方々との信仰の交わりをする主日が一番幸せで平安です。私は主日夕方礼拝の前とダニエル徹夜祈禱会の時、賛美の歌詞を読む奉仕をしています。

「真珠門くぐり都に入ってみれば、過ぎし日々が目の前によぎってゆ」

歌詞を読むとき、過ぎし日々を思えば、私を救ってくださった主に感謝し、私たちがいのちのみことばで養い育ててくださる堂会長先生の濃い愛に感動します。歌詞の一節一節の深い意味をかみしめると、いつの間にか感動の涙があふれます。

01 ニュース

NRBフランク・ライト会長、本教会とマンミン・テレビ訪問

カザフスタン福音の夜明けの訪れ

02 いのちのみことば

信仰の量り(20)

信仰の最高の段階、五段階に入れば、神様の愛がどのように違ってくるか？

03 コラム / ニュース

Dr.チョンのコラム『絶対に冗談ではありません』あなたがたを捨てて孤児にはしません

ロンドン万民教会の聖徒たち、本教会訪問

04 証し

「神様がお父さんになってほしいという母の願いを聞いてくれました」

清水ナミ動察(東京田端万民教会)



NRBフランク・ライト会長、本教会とマンミン・テレビ訪問



3月21日、NRBフランク・ライト会長(右)が本教会を訪問、堂会長室でイ・ジェロク牧師と談話している。

世界1500以上のキリスト教団体が加入している世界キリスト教放送人協会(NRB:National Religious Broadcasters)のフランク・ライト会長が今年3月21日、本教会を訪問した。

フランク・ライト博士はNRBを通してマンミンの働きに接するようになり、イ・ジェロク牧師が講師を務めた

「2006年ニューヨーク連合大聖会」と2009年イスラエル連合聖会」に参加して、大きい恵みと感動を受けて、今回本教会を訪問した。博士は主日大礼拝と夕方礼拝に参加した。夕方礼拝の時、挨拶で「堂会長先生のような偉大な牧師の下で信仰生活することがどれほど幸せと誇らしいことなのか

存じてしょうか？ 世界を心にいだいておられる堂会長イ・ジェロク牧師のビジョンと霊的なリーダーシップにより、万民中央教会からイエス・キリストの福音が全世界に伝えられています。継続的に全世界の人々の人生を変えさせて、私たちの主と神様に栄光を帰すように祈ります」と語った。

20日はマンミン・テレビを訪問し、番組製作の現場を見学した後、「マンミン・テレビはNRBの会員の中でも最高を目指していて、高品質の興味ある創意あふれる番組を製作しています。これはキリスト教放送人の手本になっています。その現場を訪問できてうれしいです」と感想を述べ、マンミンの放送の働きに多大な関心を示した。

この他にも、120余種の海水魚と淡水魚が共存するムアンの甘い水水族館を見学、各種礼拝と行事をフル HDで実況中継する放送室を訪ねて、世界宣教を活発に行っているマンミンの働きを視察した。

また、フランク・ライト会長は堂会長イ・ジェロク牧師との歓談で「福音宣教が容易ではないイスラエルの中心エルサレムで、イエス・キリストを大胆に伝えられたことに対し

て深い感銘を受けた」と述べた。歓談後、イ牧師はフランク・ライト会長の膝の痛みのいやしのために祈り、「今後もキリスト教界の統合と発展のために努めてほしい」と要請した。

フランク・ライト博士はNRBネットワーク代表、バージニア州マクリン長老教会の長老、コラルリッチ宣教会理事、金融信頼のための福音主義委員会(ECFA)理事、ノックス神学大学理事、国際伝道爆発訓練理事兼公認講師などの様々な分野で活動していて、フローリ・アトランテック大学で財政学博士学位を取得した。また、ジェームズ・ケネディ博士宣教会で25年間、実務をとり、ポートローダーデイル胎胎予防センター会長、責任ある成長のための連合代表理事、クリスチャン国会宣教センター代表理事を歴任した。

カザフスタンに「福音の夜明け」の訪れ

カザフスタン5つの地域でハンカチ集会開催



ダニエル・ローゼン牧師(左)が堂会長イ・ジェロク牧師の祈りを受けて神の力が込められたハンカチで祈っている。

「カザフスタンの人々はイスラエル連合聖会の感動を忘れずにいます」。3月20日、カザフスタン宣教チームが8泊9日のカザフスタン5つの地域でのハンカチ集会を終えて語った。

今回のハンカチ集会は昨年9月、エルサレムの国際コンベン

ションセンターで開かれた、イ・ジェロク牧師招へい「2009年イスラエル連合聖会」に参加して、神の力を体験した人々の要請で実現した。宣教チームはアルマトイ、カラガンダ、クズロルダ、アラルスク、パイクスールでハンカチ集会和洗礼式を持った。マンミンの働きを紹介した後、イ・ジェロク牧師の働きを紹介した「神の力」ビデオを上映した。続いてダニエル・ローゼン牧師がメッセージを伝えた後、イエス・キリストの御名によって神の力の込められたハンカチ(使徒19:11-12)で祈ると、聞こえなかった耳が聞こえるみわざが現れるなど、多くの人の病気がいやされて、霊的な問題が解決された。

自分たちの人生が変えられ、多くの祝福を受けていると証した。また、多くの人がロシア語に翻訳されたイ・ジェロク牧師の信仰書を読んでいたり、行く所ではどこでも本を送ってほしいという要請が殺到した。聖潔の福音を慕う心も熱かった。多くの人が本教会のホームページ(www.manmin.org/russian)を通してイ・ジェロク牧師の説教を聞き、TBNロシア放送で早朝3時30分にイ・ジェロク牧師の説教を視聴していた。彼らは放送を通してみことばを霊的に悟っただけでなく、いやしのみわざを体験

して、神に栄光を帰した。今回の宣教出張で、カザフスタンの5つの教会が支教会に加入し、多くの人がイエス・キリストを救い主として受け入れた。

カザフスタン: 中央アジアの北部に位置し、国土面積が世界で9番目に大きい。首都はアスタナ、言語はカザフ語とロシア語。人口は約1560万人(2009年)であり、宗教はイスラム教が47%、ロシア正教が44%、プロテスタントは2%にすぎない。



15日カラガンダ・ハンカチ集会での準備賛美

日本支教会の連絡先

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

・イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
http://fiidamanmin.to.cw/

・名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市長東区上菅 1-916
T) 052-774-8874

・イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

・イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980

・イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌島町
5-775-15
T) 072-220-5289
http://www.eonet.ne.jp/~osakamanmin/

・イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

・イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町 2-25-3
T) 03-3809-3326
http://tabata.manmin.or.kr/

・イエス・キリスト東京山崎万民教会
〒114-8511 東京都目黒区山崎 1-1-1
T) 03-3498-1111

・イエス・キリスト川崎万民教会
〒210-0818 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目12-8
グリーンヴァレ 301号室
T) 044-277-0178

・イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

・イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市宇安久 138
T) 0773-75-5656
http://www.manmin.jp/

・岡山万民教会
〒701-2155 岡山市北区中原460
T) 086-275-7276

・イエス・キリスト八千代万民教会
〒276-0045 千葉県八千代市大和田 670
T) 047-483-3587

・イエス・キリスト鎌田万民教会
〒311-2102 茨城県鎌田町台濁沢1080-6
T) 0291-39-9177

・イエス・キリスト東京万民教会(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740

・横浜鶴見福音教会(協力)
〒230-0047 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
T) 045-521-5843

信仰の量り(20)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

今から七回にかけて神様に喜ばれる信仰、すなわち、信仰の五段階について語ります。

1. 「どれほど神のみことばのとおり行なうのか」によって変わる信仰の量り

私たちが同じように主を信じるといっても、「どれほど神のみことばのとおり聞き従っているのか」という行ないの程度は千差万別のが見られます。たとえば、テサロニケ人への手紙第一-5:16-18に「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」とあります。このように信仰生活をしている人々によく知られているみことばでも、完全に聞き従っている人はそんなに多くありません。いざ難しい事にあえば、悲しんで不平を言って、祈りをやめてしまいます。試みにあって気を落として、使命を果たすことができない人もたくさんいます。しかし、神のみことばのとおり聞き従うために努力すれば、徐々に信仰が大きくなって、聞き従える力が与えられます。

初めは聖霊を受けて、信仰の一段階から出発しますが、神のみことばを聞いて、学んで、行おうと努力し始めれば、信仰の二段階に入るようになります。信仰の三段階になれば、みことばとおり守り行なえる力が与えられ、一步進んで心の根の根にある罪の性質まで捨ててしまえば、信仰の四段階に入ったのです。そして、さらに完全に御霊に属する実を結ぶようになれば、最高の信仰である信仰の五段階に至ることができます。

2. 信仰の量りに応じて違ってくる神の愛

信仰の段階が高くなるほど、聖書にあるすべての祝福を体験して生きていくようになります。将来、天国ですばらしい場所に入って、さらに栄えある報いを受けるだけでなく、この地上でも祈ったとおりにすぐ答えられて、すべてのことにおいて生ける神のみわざを体験していくのです。信仰の四段階は「神様をこの上なく愛する段階」と言いました。神様をこの上なく愛するので、世の何よりも、誰よりも神様をもっと愛する段階であり、何の代価も願わないうで条件をつけずに神様を愛する段階です。

もちろん、信仰の一段階や二段階も、自分なりに神様を愛する心はありますが、神様の前に認められようとするなら、口で告白すること以外にも、行ないに偽りがなく、移り変わりがあってはなりません。多くの人が大いに恵みを受ければ、「神様に命もささげます」と言います。しかし、このような恵みが冷めれば、また以前の生活へ戻ったり、自分の大切なものをささげなければならない状況に直面すれば、惜しんだりします。〈ヨハネの手紙第一-5:3〉に「神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。」とあります。しかし、神を愛すると言いつつ、その命令を守っている人がはたしてどのくらいになるでしょうか？ ですから、信仰の四段階に入る前には、自分なりに神様を愛していると言いますが、まだ「神様をこの上なく愛する信仰」と認められませんが、私たちが信仰の四段階に入れば、この世の何よりも神様を第一に愛して、自分のすべてを神様にささげられます。また、神様を愛するので、どんな迫害や殉教にあっても、神様の戒めを完全に守って聞き従うようになります。そのような人が「父なる神様、愛しています」と告白すれば、神様の前にうるわしい香として立ち上るでしょう。今日は罪と悪がはびこって、信仰の四段階の人も見つけるのがやさしくないので、四段階にだけ入っても、神様がとても尊く思われて、愛して下さるのです。

〈箴言8:17〉に「わたしを愛する者がわたしに愛され、わたしを熱心に捜す者がわたしを見つかる。」とあるとおり、私



堂会長イ・ジェロク牧師

ちが神様をこの上なく愛すれば、神様もこの上なく愛して、いつもともにおられる証拠を見せて下さるのです。ところで、信仰の五段階に至れば、愛の次元がもう一段階違ってくる。単に愛して戒めに聞き従う次元でなく、神様の心と御旨を推し量って聞き従う次元ですから、神様に喜ばれるのです。

3. 神様に喜ばれる信仰の五段階

それでは、信仰の五段階、すなわち「神様に喜ばれる信仰」とは、はたしてどんなものなのでしょうか？ 子どもたちが親を愛する程度はそれぞれ違います。親の言うことをよく聞く子どももいて、よく聞かない子どももあるし、時には完全にさからったり、ぐれたりする子どもたちもいます。一方、よく言うことを聞かない子どももいて、これよりも少し良い子どもは、親を愛するのでその心を痛めないようにしようと、ただ聞き従うだけです。これよりさらに愛が優れた子どもの場合、親が何かをしなさいと言ったとき、なぜそう言うか、親の心まで推し量って、親が願うこと以上をします。また、させないことまで探して、親の心にぴったり合うやり方であらかじめしておくのです。これはただ言うことを聞くことや従う段階を越えて、心にからにじみ出て従う次元です。

もちろん、親はすべての子どもを愛するものですが、ある子どもがこのように特別に親を愛して、心からにじみ出て聞き従えば、親もその子をもっと深く愛するしかありません。しかも親の良いところにそっくり似て、親の心の奥まで推し量って、することは何でも気に入るようにしてくれたら、親はどんなにその子を喜ぶでしょうか？

神様も同じです。聖書にしなさい、してはならない、守りなさい、捨てなさい」とあるすべての戒めに完全に従う子どもがいるならば、この上なく愛して下さいます。一步進んで、神様の深い心と御旨まで推し量り、すべてのことに神様の心に合わせて行なえば、神様がどれほど喜ばれるでしょうか？ 信仰の五段階の人は、ある瞬間だけあふれる行ないを見せたり、時々濃い愛をささげたりするものではありません。一日24時間、毎分毎秒、自分を喜ばせようとする心が全くなく、ただ神様に喜ばれようとして生きていき、また、魂たちに仕えるために生きます。そのような姿が10年になっても、100年になっても変わることがないし、かえって優るだけなのが信仰の五段階です。

もし神様を信じる前も、肉の親に仕えるとき、心を尽くして真実に愛して仕えた人ならば、信仰にあって神様に仕える時もそうでしょう。肉の親は自分のからだを生んでくれただけですが、私たちは人の道に従って愛するようになります。まして神様は私たちの霊と魂を生んでくださった霊の父であります。しかも自分が死ぬしかない罪人だったとき、自分のためにひとり子のいのちまで与えてくださったことを悟れば、どうして愛さないでいられるでしょうか？

肉の愛は完全なものでなく、極限状況になれば変わっ

てしまうこともある愛です。親と子だけでなく、兄弟の間の愛も、夫婦の愛も、友だちの友情も同じです。私は六人兄弟の末っ子に生まれて、両親にこの上なくかわいがられて育ちました。私も両親をとても愛して、何と少しでも両親に喜んでもらおうとしました。それで、私は世のどんな親と子にも劣らず濃い愛を分かち合ったと思っていましたが、極端な状況になると、結局その愛が変わるのがわかりました。

私が神様を信じる前、家族と知り合いに病気のため、ずいぶん迷惑をかけました。年月が経つほど病気はひどくなって、回復の見込みがないように見えると、友だちも、親戚も、私を愛していたすべての人々がひとりひとり顔を背けるようになりました。両親も、初めは何と少しでも私を生かすために最善を尽くして薬を求めてくれましたが、結局はあきらめてしまいました。私を訪ねてきた母が「いっそのことお前が死んだら私が親孝行だ」と号泣する姿を見ながら、私は肉の愛がはたしてどんなものなのかを身にしみて悟りました。しかし、神様の愛は違いました。私にはささげるものが何もなかったけれど、神様は条件をつけずに私を愛してくださいました。まず愛の御手を差し伸べて、すべての病気をいやしてくださいました。その後、33年間、神様の愛は一度も変わったことがありません。

どんな絶望的な状況でも、神様を呼ぶ時はいつも答えて、求めれば良いものだけ下さったし、捜せば見つかるように導いてくださいました。もちろん私たちが真理からはずれて死の道に向かっている時は、まるで神様が御顔を背けられたように見える時もありますが、その道から立ち返りさえすれば、直ちに暖かくなってくださって、変わらない愛で天国まで導かれる方がまさに私たちの父なる神様です。私は肉の親も心と最善を尽くして愛しましたが、このような場合、親が何かをしなさいと言ったとき、なぜそう言うか、親の心まで推し量って、親が願うこと以上をします。また、させないことまで探して、親の心にぴったり合うやり方であらかじめしておくのです。これはただ言うことを聞くことや従う段階を越えて、心にからにじみ出て従う次元です。

4. 信仰の五段階に臨む祝福

信仰の五段階に入って神様と互いに愛を分かち合う幸せは、言葉で説明することができません。すべての面で多くの祝福を受けるので幸せなのもありますが、中でも最も大きい幸せは、まさに父なる神様といつも交わりながら深い愛を分かち合う幸せです。世の人々がとても幸せな状況になれば、「この瞬間が永遠に続けばいい」と言ったりしますが、この地上で感じる感動と喜びはいくら良くても、さほど経たないうちになくなるものです。ところが、全く聖なるものとされた人は、世で得られるどんな喜びと幸せよりもっと満たされた感じいつも心が一杯です。ひとりでも、道を歩いていても、人に会っても、何を見て聞いても、心には父への愛がぎゅーと押し、すべてのことに父の愛が感じられます。神様のほうからも、あまりにも愛されるので、皆さんの存在そのものが神様にとって喜びになります。寝てもさめても、座っても立っても、何を言ってもどんな事でも、神様がご覧になってあまりにもうれしいし、かわいいのです。信仰の五段階に入って、すべてにおいて御霊に属する心になれば、思いと言動が何をしても神様の心にぴったり合っで、一つ一つが神様に喜ばれるようになります。神様が人間を創造された理由が、まさにこのような子どもを得るためです。私たちが父のうちに、主が私たちのうちに、互いに心が一つになって、真実の愛を分かち合っで、その中で無限の幸せを味わおうとされるのです。次回は、信仰の五段階の特徴はどんなものか、具体的に説明します。



Dr. Chonのコラム『絶対に冗談ではありません』

あなたがたを捨てて孤児にはしません

静かな林の静寂が鋭い鳥の叫びで破られました。親鳥が子鳥たちのいる巣の上を怒っているように飛びながら上げた、ひと声のためでした。そこを通過していた狩人が目をやると、巣があるその木と同じ色の蛇が巣に向かって這い上っていました。蛇は慎重に徐々に上っているのに、鋭い口と声を上げたその親鳥はどこかに飛んで行ってしまいました。

蛇が巣のある枝のほうに近づいた頃、親鳥は木の葉をクチャパシにくわえて来て、自分の子どもたちの上にかぶせて、近くにある他の枝にとまって見守っていました。

旺盛な食欲を感じた蛇はとぐろを巻いて頭を持ち上げては、舌なめずりました。間違いないその幼い子鳥たちが全部食べられてしまいうでたが、全く予想しなかったことが起こりました。巣にいる子鳥を食べようとしていた蛇は、子鳥たちの上にかぶせられたその木の葉を見て突然、動きを止め、ゆっくりからだを回し、木の下にすべるように降りて行ってしまったのです。

不思議に思った狩人は焚き火の回りに集まっているアフリカ人に聞きました。彼らの説明によると、親鳥がくわえて来て、子鳥の上にかぶせたその木の葉

は、蛇にとって毒になるものなので、蛇が目の前にいる弱々しい子鳥も食べられずに、逃げてしまったとのことでした。

まことに不思議なことだと思います。弱肉強食の世界とされている動物の世界にも、細やかな神の御手がすみずみにうるわしく働いておられることが感じられます。一羽の名もないアフリカのジャングルで生きている鳥にも、このように愛の御手を差し伸べて、知恵を分けてくださった神様が、どうしてご自分のかたちに造られた私たち人間をおろそかにされるでしょうか？

ある日、どしゃ降りの雨が降って、家の前にあった木が倒れて、道を防いでしまいました。これを見た少年は汗をダラダラ流しながらそれを片づけようとしたが、無駄骨でした。これを見ていたお父さんが少年に近づいてきて、「その木を片づけるために、できることは全部したの？」と聞きます。少年はお父さんを見上げながら残念そうに、できることは全部したのに、木はびくともしないと言えます。するとお父さんはこつこつ笑ってこう言いました。「君、まだしなかったことが一つある。このパペに助けてと言わなかったんじやな

い？」
そうです。名のない鳥一羽までも愛の御目で見守って、生きる道を開いて守られる神様は、私たち人間を捨てて孤児にはしないとされました。あらゆるサタンの策略と誘惑に屈せず、打ち勝てる道を備えてくださいました。蛇のちろちろする舌から名のない鳥を守るために、蛇に勝てる木の葉を与えられたように、敵である悪魔の力に打ち勝てる大いなる名を与えてくださいました。十字架につけられたイエス・キリストの大いなる御名の前にひざまずかないものは、全宇宙に何もありません。私たちが捨てて孤児にはしないで、私たちの導き手である聖霊を賜物として遣わされたし、「わたし(イエス・キリスト)を信じる者は、わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに大きなわざを行ないます。」と言われ、イエス・キリストの御名によって求めることは、何でも、それをしましよと言われました。

私たちは捨てられて孤児にされた者ではありません。全知全能のその方が私たちの父になられ、私



ロンドン万民教会の聖徒たち、本教会訪問

ロンドン万民教会の担任、ジェイン・ンゴロゴマ宣教師(ブガンダ王国の王女)と夫君のデイビッド・ウィリアム・ムカサ宣教師、そして聖徒たち計10人が本教会を訪問した。

ンゴロゴマ宣教師一行は金曜徹夜礼拝と主日礼拝に出席、教会ツアー、マンミン・テレビ訪問、区域礼拝に参加してマンミンの働きの現場を見学した。また、堂会長イ・ジェロク牧師に会って自分たちの証しを伝えた。

また、3月29日から4月6日までの訪問期間中、本聖殿で毎日夜開かれている

「2回連続特別ダニエル徹夜祈会」に参加して、「聖霊が臨んでからだがフワッと浮いている気分だった」「とても恵みを受けて、聖霊の臨在と祝福を感じた」と感想を述べた。

ンゴロゴマ宣教師は「2007年9月に派遣された後、もっと幸せでもっと謙虚になつたし、皆と一緒に分かち合う生き方に変えられました。心に幸せがあふれています。神の力の込められたハンカチで祈ると、病気がいやされて、闇の勢力を退けるなど、霊的な権威が大きくなったようです」と語った。



3月31日、ンゴロゴマ宣教師(前列左)と夫君ムカサ宣教師(前列右)とロンドン万民教会の聖徒たちがマンミン・テレビを訪問した。



Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy7042@hotmail.com



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民 ニュース

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
編集発行: 万民中央教会
〒152-048 韓国ソウル市クワク区クダ33-235-3
TEL: 82-2-818-7042 FAX: 82-2-818-7048